
PadelAsia

パデルを、 日本の社会インフラへ

市場創出と、人・空間・事業が循環するスポーツの未来

事業説明資料 | Business Presentation

パデルは 「流行前のスポーツ」 ではない

すでに世界で成功モデルが確立され、
日本は大きな伸びしろを残した

ブルーオーシャン市場

📍 THE OPPORTUNITY

日本のパデル市場を創る歴史に参加する。
社会インフラとビジネス、
両方の価値を築く機会は、まさに今です。

TOP 15 COUNTRIES N° COURTS

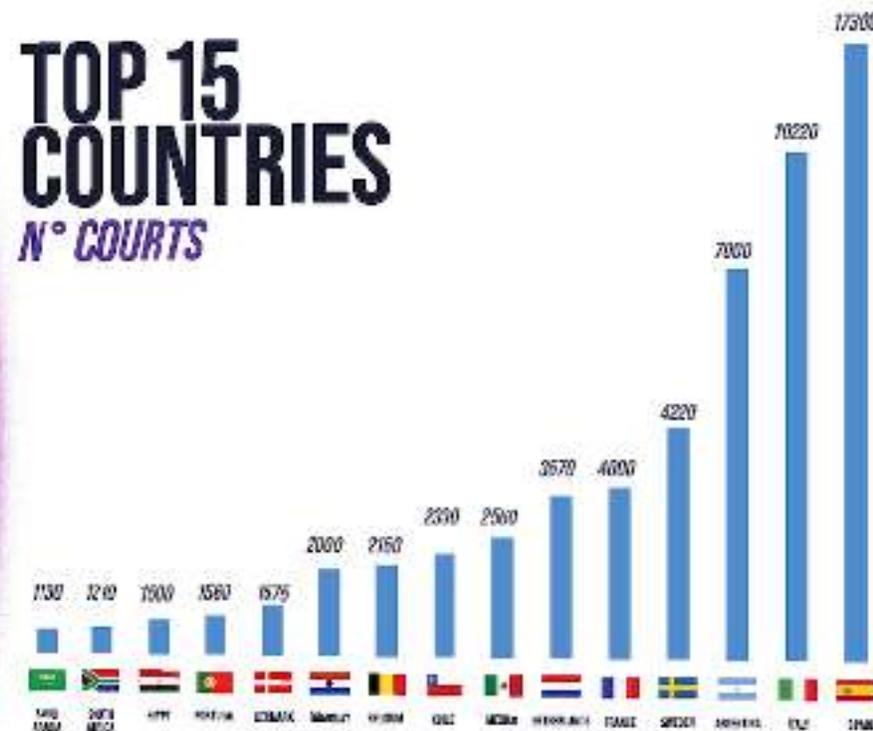


Fig. 12. Padel Courts by countries (top 15)

— INTRODUCTION

パデルとは？ What is Padel?



スペイン発祥のラケットスポーツ。テニスとスカッシュの要素を併せ持ち、ガラスと金網に囲われた専用コートでプレーする「**世界一成長しているスポーツ**」として注目を集めています。



初心者でも初日から楽しめる **UNIVERSAL**

ラケットが短く扱いやすいため、**初心者でも初日から**ラリーが続きます。老若男女が一緒に楽しめるユニバーサルスポーツです。



スペインでは国民的スポーツ **POPULAR**

発祥国スペインでは**サッカーを超える競技人口**。生活の一部として定着した国民的スポーツです。



世界3,500万人がプレー **GROWTH**

現在の競技人口は**世界3,500万人**を突破。スポーツ史上類を見ないスピードで市場が急拡大しています。

📖 基本ルール

- ダブルス（2対2）のみでプレー
- テニスコート2/3程度のサイズ（縦20m×横10m）
- 強化ガラスと金網に囲われた専用コート
- ワンバウンド後、壁に当たって跳ね返ったボールも返球可能

Why Now | なぜ今、パデルなのか

社会

SOCIAL IMPACT



- **健康寿命**の延伸
- **地域活性化**
- 遊休地活用

市場

MARKET GROWTH



- 世界**3,500万人**
- 年率**22.8%**成長
- **150カ国**以上

空間

SPACE EFFICIENCY



- テニス1面 = パデル**2面**
- 省スペース・遊休地活用
- **4人**で成立

人

HUMAN CONNECTION



- **初日**からラリーが続く
- **高継続率**
- ダブルスで交流

CONCLUSION

4つが同時に噛み合う、極めて稀なスポーツ

Why Padel

人が自然につながる構造



ダブルスでプレー

常に2対2でプレーするため、自然とコミュニケーションが生まれます。



初日からラリーが続く

初心者でもすぐに楽しめるため、共通の成功体験を共有できます。



会話とリアクション

距離が近く、プレー中の会話やハイタッチが自然に発生します。



CONCLUSION

プレーした
瞬間から
関係性が
生まれる

Business Impact

継続とコミュニティが生まれる



01



高いプレー継続率

初心者でもラリーが続き、すぐに「楽しい」と感じるため、リピート率が高い。

02



イベント参加

ダブルス形式で会話が生まれやすく、イベント参加への心理的ハードルが低い。

03



コミュニティが自走

ユーザー同士がつながり、新たなコミュニティが形成され、さらに継続率が上がる。

CONCLUSION

人が人を呼び、
LTVが着実に
積み上がる
スポーツ



Life Time Value (顧客生涯価値)

Space Compatibility

空間に新たな用途と価値を生み出す



規格サイズで設計

20m×10m / 約60坪



4人で成立

少人数で高回転



屋内・屋外OK

遊休地の有効活用



滞在型施設

プレー・観戦・飲食

圧倒的な土地活用効率

テニス 1面



約200-260坪

収益機会 2倍

パデル 約2面



同面積で2コート設置

フットサル 1面



約250-300坪

収益機会 3倍

パデル 約3面



同面積で3コート設置

※テニス及びフットサルコートサイズやレイアウトによって確保できるコート数が異なります

CONCLUSION

空間の価値を 最大化できる

省スペースで、より多くの人を動員し、
滞在時間を延ばすことが可能

都市・地方での機能

都市部

- ✓ 再開発・商業施設・沿線への導入
- ✓ 公共空間・高架下の有効活用

MEDIA HIGHLIGHT

2025.01.05 NHK「うなぎのぼりLAB」

人流データを元に「人が集まる場所」として
パデル東京ミズマチが紹介されました

VALUE

人流と滞在価値を生む
キラコンテンツ

地方

-  交流人口の創出
-  スポーツツーリズムの推進
-  地域コミュニティの核となる

VALUE

地域の賑わいと
繋がりをつくる

— CHAPTER B | 実装事例

パデル東京ミズマチ

📍 東武鉄道保有の高架下空間 × 東京スカイツリー麓

売上高（年間）

🔒 詳細は担当にご確認ください。
さい。

土日稼働率

95%

月間来場者数（述べ）

2,200 名

平日稼働率

69%

VALUE PROPOSITION

スポーツを起点とした **人の流れ**と**滞在**を創出

本ページの情報は御社のみで取扱いにご注意ください。

坪あたり収益性比較 | パデル vs 他業態

📍 墨田区近隣エリア対象・敷地250坪での想定比較

🔒 CONFIDENTIAL



詳細は担当者までお問合せください

本ページには、坪あたり収益性の詳細比較データが含まれます。
パデルと他業態（フットサル、テニス等）の詳細な比較データをご希望の場合は、
弊社担当者まで直接お問い合わせください。

✉ Contact: info@padelasia.jp / 担当：玉井

直営施設/収益シミュレーション（投資回収・ROI）

 CONFIDENTIAL



詳細は担当者までお問合せください

本ページには、直営施設の収益実績および投資回収シミュレーション等の
詳細な機密情報が含まれており、非公開とさせていただきます。
詳しいデータをご希望の場合は、弊社担当者まで直接お問い合わせください。

 Contact: info@padelasia.jp / 担当：玉井

Global Market | 世界のパデル市場

出典: FIP World Padel Report 2025

 競技人口

3,500万+

世界で最も急速に成長している
スポーツコミュニティ。
年率+15%以上で拡大中。

 総コート数

77,355面

GROWTH RATE

↑ 22.8%

過去18ヶ月で
+14,355面 増加

 施設数 (CLUBS)

24,600箇所

ビジネス拠点として世界中に定着

 展開国・地域

150カ国

グローバルスポーツへ

Regional Growth Map | 地域別成長トレンド

Europe

成熟市場

牽引: フランス、イギリス

Global Share

67.9%

49,700 面

↑ 22.7% YoY

The Americas

南北アメリカ大陸

18,000 面

↑ 46.1% YoY

飛躍的成長:
ブラジル、アメリカ、コロンビア

24.6%

Asia

3,784 面

↑ 108.1%

インドネシア +312.5%
驚異的な伸びを記録

HIGHEST GROWTH RATE

Africa

1,727 面

↑ 97.1%

成長国: 南アフリカ、モロッコ、エジプト

2.4%

世界へ拡大するパデル正式採用の波



 パデルの波は 南米・欧州・北米から、アジア・世界 へ

Japan Market | 日本市場の現在地

2025年12月時点データ

 国内競技人口

4.2万人

世界で実証された
熱狂が日本でも始まる

※推計値

 総コート数

52コート

 **成長加速フェーズへ** 本格成長の分岐点を突破

 施設数

26施設

 都市・地方問わず全国へ展開中

日本は 可能性の国から 実行フェーズの国へ

世界では「50コート突破後」に成長が加速する法則。
日本はその転換点を、ついに突破しました。

CURRENT STATUS

2025年6月 国内50コート到達。
市場爆発の準備は整いました。

PadelAsiaの成長戦略

2032年に向けた3段階のロードマップ



この3つのPhaseで、パデルを日本の**社会インフラ**へ

1店舗の収益性 & 3つの出店方法

再現性と拡張性を両立する事業構造



再現可能な単位収益



CONFIDENTIAL

詳細は担当者までお問合せください

本セクションには、店舗ごとの収益モデルおよび詳細なユニットエコノミクス情報が含まれており、非公開とさせていただきます。

Contact: info@padelasia.jp / 担当：玉井

出店モデルの多層化戦略



① 直営モデル フラッグシップ

- ✓ ブランド形成・人材育成
- ✓ 高い利益率を確保
- ✓ 件数は厳選して展開

主な役割
質の担保・高収益



② JVモデル 地域パートナー連携

- ✓ 大型案件・地域中核
- ✓ 初期投資を分散
- ✓ 地元ネットワーク活用

主な役割
リスク分散・地域浸透



③ FC/サポートモデル パートナー支援

- ✓ FC加盟店からロイヤリティ収入
- ✓ 運営サポート料（月額フィー）
- ★ 設備投資は原則不要

主な役割
スピード拡張
安定収益

リスクヘッジ構造



「店舗数 = リスク」にならないよう、アセットライトなFC/サポートモデルを組み合わせたポートフォリオを構築。

社会に定着させる構想

パデルを日本の「社会インフラ」へ



01 教育レイヤー

- ✓ 学校体育への導入
- ✓ 大学・部活動連携
- ✓ 指導者資格制度の確立



02 企業レイヤー

- ✓ 企業対抗リーグの開催
- ✓ 福利厚生への採用
- ✓ 健康経営プログラム



03 自治体・医療連携

- ✓ 介護予防プログラム
- ✓ 地域包括ケア拠点化
- ✓ 多世代交流促進



04 データ × スポーツ

- ✓ プレーヤーレーティング
- ✓ AIマッチングシステム
- ✓ 健康スコア可視化

2032

FUTURE VISION

スポーツの枠を超え 社会システムの一部へ

教育、健康、コミュニティ形成。
パデルが持つ多面的な価値を最大化し、
日本の社会的課題の解決に寄与する
インフラストラクチャーを構築します。

🔒 本ページの情報は御社のみで取扱いにご注意ください



— CHAPTER E

Why PadelAsia

PadelAsiaの立ち位置

× ~~施設運営会社でもない~~

NOT ONLY

× ~~競技団体でもない~~

NOT ONLY

× ~~コンサルでもない~~

NOT ONLY



CORPORATE ACCELERATOR
Powered by 0+1 BOSS

株式会社Pade

OUR DEFINITION

パデルを社会に “実装”するチーム

0→1を現場で築き上げた経験



施設運営

施設運営、集客、プロモーション、顧客対応、コーチや支配人育成などの現場ノウハウ



普及活動

体験会の実施、コミュニティ形成、イベント企画による認知拡大



競技・育成

アカデミー運営、大会開催、選手育成などの競技面での専門性



事業化

収益モデルの構築、KPI管理、多店舗展開に向けたシステム化

国内唯一

4つの領域を 同時並行で経験

多くの挑戦を通じて成功と失敗を経験
個人ではなく組織としての独自ノウハウを
循環させながら蓄積

代表 玉井勝善の実績

- ・2016年に日本パデル協会を立ち上げ副会長に就任
普及活動や大会企画運営など多岐にわたり国内パデル普及に尽力
(・2025年3月末で理事退任)
- ・他社運営のパデル施設オープンのプロデュース、人材育成に関わる

空間 × 人 × 事業を同時設計



URBAN / TRANSIT

都市・沿線型

パデル東京ミズマチ

高架下やデッドスペースを活用。
通行量が多い場所での認知獲得と、
仕事帰りの利用促進。



COMMERCIAL

商業施設型

パデル名古屋

集客力のある施設とのシナジー。
「ついで利用」やイベント連携で
新規層を取り込む。



RESIDENTIAL

住宅・近隣型

パデル東京

地域コミュニティの中心地として機能。
スクールや子供向けプログラムで
高い定着率を実現。



**立地や環境などの条件が異なっても
事業を 成立させてきた実績**

最適なモデルを柔軟に構築する設計力

— CHAPTER E

Strength ③

再現可能な「事業の型」



初期導入設計



集客・コミュニティ形成



安定運営



地域連携



JPA AWARDS

全施設 優秀賞受賞

HOW TO PARTNER

私たちは、 ともに未来を創る

OUR PHILOSOPHY

市場をともにつくる
パートナーを求めています



Partner Profile

パデル市場を共に創造するパートナー像



スポーツ施設・ 場づくり主体

既存スポーツ施設の遊休地活用や、スクール運営事業者様。新たな収益源と集客コンテンツとして。

テニスクラブ フットサル場 フィットネス



土地・施設価値 向上企業

デベロッパー、電鉄会社、不動産オーナー様。空きスペースの有効活用と、エリアの賑わい創出に。

デベロッパー 電鉄 高架下活用



自治体・ 地方公共団体

地域住民の健康増進、遊休地の活用、スポーツツーリズムによる地域活性化の起爆剤として。

地域活性化 遊休地活用 健康増進



スポーツ×新規事業 検討企業

ヘルスケア、ウェルネス領域への参入を検討中の企業様。急成長スポーツ市場への早期参入機会。

新規事業開発 健康経営 CVC



シナジー創出 パートナー

コミュニティビジネス、飲食、イベント、アパレルなど、パデルの空間と顧客層に親和性のある事業社様。

飲食 アパレル イベント

OUR VISION

多様なパートナーと 共創する未来

パートナーとの連携で
パデルの社会インフラ化を
さらに加速させます。

4つの連携モデル

企業のフェーズや目的に応じた柔軟なパートナーシップ形態

01



出資・資本参加

PadelAsiaの成長性への投資として、第三者割当増資等による資本参加。

- 財務リターンの追求
- 経営参画・ガバナンス
- 強固なパートナーシップ

INVESTMENT

02



共同事業 (JV)

特定エリアやプロジェクトにおける合併会社の設立や共同開発。

- リスクとリターンの共有
- 相互リソースの最大化
- スピード感ある事業展開

JOINT VENTURE

03



運営受託 プロデュース

オーナー様保有施設の運営代行、または新規立ち上げ支援。

- 専門ノウハウの提供
- 安定的な施設運営
- 人材育成・派遣

MANAGEMENT

04



事業共創 アライアンス

特定領域での業務提携やコラボレーション。

- 施設の立ち上げ支援
- 集客イベント・大会開催
- パデル商品の卸・物販
- 飲食・サービス連携

ALLIANCE

社名
株式会社Padel Asia (Padel Asia inc.)

設立
2015年10月1日 **パデル専門10年の実績**

資本金・役員
資本金 1,750万円 (+準備金 1,650万円)
代表取締役：玉井勝善 取締役：木村公彦、熊木純一

事業内容

パデル施設の経営及び運営、コンサルティング事業
パデル関連商品の輸入・販売

運営クラブ (3施設)

パデル東京 2016年12月 OPEN **東京初** コーチ8名
🏆 JPA AWARD 優秀施設賞 受賞
善福寺公園テニスクラブ内

パデル名古屋 2019年8月 OPEN **愛知県初** コーチ5名
🏆 JPA AWARD 優秀施設賞 受賞
愛知県名古屋市中区大須

パデル東京ミズマチ 2023年1月 OPEN コーチ11名
🏆 JPA AWARD 優秀施設賞 受賞
東京都墨田区向島 (スカイツリー麓)

JPA AWARDとは：
日本パデル協会が主催する年に一度のイベントで、全国のパデル愛好家や関係者の投票によって決定する賞です。

拠点・所在地

本社 東京都目黒区目黒1-4-16
ヘッドオフィス 千代田区神田佐久間河岸78-3
パデル東京 練馬区関町南1-4-48
パデル名古屋 名古屋市中区大須3-10-26
パデル東京ミズマチ 墨田区向島1-32-4

組織構成

3名
役員

4名
社員

23名
アルバイト/業務委託

受賞歴



2017年
三菱地所コーポレートアクセラレータ 優秀賞
224社の中から6社



2019年
TAKENAKAアクセラレーター 優秀賞
144社の中から6社

パデルを日本の社会インフラへ



社会インフラ化のビジョン

PHASE 1

2015 - 2025

市場を立ち上げる

6(4施設) → 52 コート (26施設)



PHASE 2

2026 - 2031

NOW

全国に広げる

52(26施設) → 450 コート (150施設)



PHASE 3

2032-

社会に定着させる

450(150施設) → 1,000 コート (330施設)



社会システムレイヤー

教育機関連携・企業福利厚生・自治体政策・社会制度への統合

コミュニティレイヤー

人々のつながりと健康・世代を超えた交流の場

施設レイヤー

全国主要都市への展開・地域に根ざした施設ネットワーク

私たちは、パデルを日本の社会インフラにする未来を必ず実現します。